

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アジア諸国との交流事業				シート番号	008-026
担当部署名	文化観光	局	国際	部	アセアン交流推進室	課 評価責任者(課長名)
						酒谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け	
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	有	
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)				
5	事業実施の経緯	堺市は中近世時代における東南アジア諸国と交易・交流の歴史を有しており、その歴史的財産を活かし、今後大きな成長が見込まれるアセアン各国と経済・環境・文化・学術・教育などの各分野で相互交流を行い、国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくりに資するために事業を実施する。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (堺・アセアンウィーク実行委員会)				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	アセアン各国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民。堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワーク形成を目的として、①将来のナショナル・リーダーとしての活躍が期待されるアセアン各国で日本に興味を持ち、日本語・日本文化を学んでいる大学生。②本事業の参加者を通じて堺市の情報をえるアセアン各国の人々。				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	南蛮貿易として東南アジア諸国との交易・交流の歴史やベトナム総領事館が市内に立地する堺市の強みを活かし、成長著しいアセアン各国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流を促進させる。本事業を通じて、国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくりを推進するとともに、世界の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺・アセアンウィーク実行委員会事業を中心に、次のような事業を実施した。 ①日本について学んでいる参加7カ国の大学生が「民間大使」として、堺市内の小学生などに自国の文化を日本語で紹介するとともに、市内の大学や東南アジア諸国との市場交流を望む企業などを訪問し、今後の堺市と各国との懸け橋となる活動に繋げた。 ②アセアンの大学で理工系科目について学んでいる学生を4カ国から招へし、市内大学での研究発表や、市内企業などの見学により、将来の本市内への留学や企業就職につながる取組みを実施した。 ③アセアン諸国の風景や歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真を公募、展示した。 ④facebook等のインターネットを通じて、アセアンの人々に向けて情報の発信・PRを行った。 ⑤アセアン文化講座事業では、通年で市民向けの語学・料理・工芸等の各国文化講座を開催し、多文化理解を深めた。アセアンウィーク期間中にはアセアン各国の映画の上映会を開催した。 ⑥アセアン諸国と日本との外交関係に基づく周年事業や所属職員相互派遣事業、各国総領事館等との協力事業の実施等、適宜機会をとらえて堺市のPR・情報発信や、観光・経済等の連携に繋がる交流事業を支援した。 ⑦上記の堺・アセアンウィーク事業をはじめ、ダナン越日文化交流フェスティバルに参加して堺市ブース出展や堺市民間団体による文化実演プログラムを実施した。				
10	直接実施以外の主な支出先	堺・アセアンウィーク実行委員会					

Ⅲ. 投入量

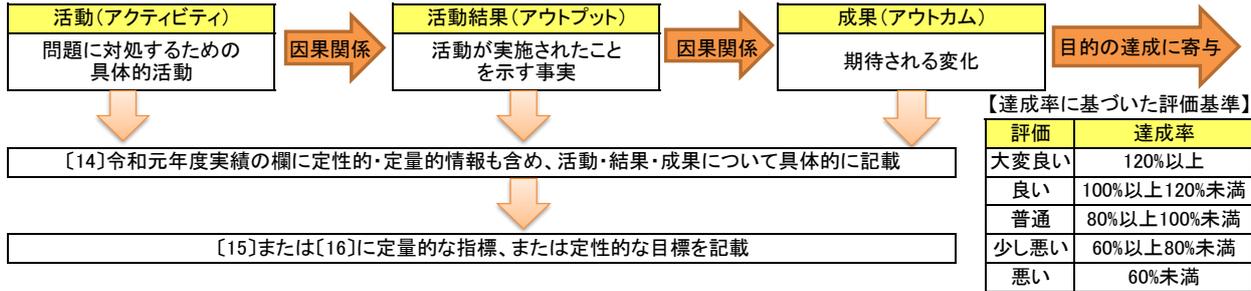
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	41,094	38,541	45,216	38,553	42,349	28,875	39,706	
主な事業費内訳	堺・アセアンウィーク開催負担金	千円	18,800	18,416	18,800	18,024	18,800	13,401	17,245
	非常勤報酬	千円	13,051	11,994	9,462	8,695	13,173	8,427	11,112
	旅費(特別旅費・費用弁償を含む)	千円	2,121	2,756	6,754	4,429	4,006	3,094	3,575
	その他経費(事務的経費等)	千円	7,122	5,375	10,200	7,405	6,370	3,953	7,774
	国・府支出金	千円							
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(国際交流事業指定寄附金)	千円		271		40			
	一般財源	千円	41,094	38,270	45,216	38,513	42,349	28,875	39,706
12	人件費 (b)	千円	34,500	34,500	34,500	34,500	34,100	34,100	37,800
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	75,594	73,041	79,716	73,053	76,449	62,975	77,506

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	アジア諸国との交流事業	シート番号	008-026
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>「堺・アセアンウィーク2019」を開催し、アセアン全10か国との交流事業を実施し、将来のナショナルリーダーとなる人材との国際交流及び堺PRの推進に貢献できた。 2019年2月に友好都市を締結したベトナム社会主義共和国ダナン市との取り交わした確認書に基づき、所属職員の相互派遣事業やダナン越日文化交流フェスティバルにて堺市PRブース運営などを行った。 また、2020年2月に友好都市提携を締結して1年を迎えたことから、写真展を実施することにより、堺市民に対するダナン市の現状理解と両市の友好交流状況の周知をするなど、教育・文化・学術・経済など様々な分野での交流を行い、確認書に基づく交流内容の着実な進捗を図った。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		民間大使交流児童数	人	目標値	11,568	11,568	13,216	中止
				実績値	11,568	11,568	13,216	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		民間大使(アセアン各国から来堺した大学生)が訪問する堺市内の小学校の交流児童数。					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		アセアン諸国の歴史・文化に対する理解度の向上	%	目標値	90	92	94	90
				実績値	91	93	—	
				達成率	101%	101%	—	
	評価			良い	良い	—		
	算出方法・設定根拠など		令和元年度まで: 次年の「堺・アセアンひろば」への来場希望率。来場者にアンケートを取り、来年も来場したいか、の質問に対して「はい」の返答を得る割合が90%を超えることを目標とする。 令和元年度: 台風接近により準備困難なため中止。 令和2年度から: 「堺・アセアンウィーク」で実施している「堺・アセアンひろば」や「アセアン文化講座」等の来場者(参加者)で「アセアン諸国の歴史・文化への理解が深まったか」との質問に対して「はい」の返答を得る割合が90%を超えることを目標とする。					

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	民間大使交流児童数	人	11,568	11,568	13,216
	②	上記①にかかる年間経費	千円	11,248	11,834	13,089
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	972	1,023	990
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	次年の「堺・アセアンひろば」への来場希望者数	人	3,640	5,208	—
	②	上記①にかかる年間経費	千円	10,537	10,077	—
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,895	1,935	
備考(算出についての説明等)		「単位当たり経費」を算出する際、来場者アンケートにおいて、来年も来場したいと答えた人数(換算値)とした。				

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)		【分析のチェックポイント】
19	<p>◎堺・アセアンウィーク事業参画国数については、現地関係者及び堺市内を中心とした受入各方面との事前調整を迅速かつ綿密に行うことにより、ASEAN加盟国全て(10カ国)の参画を実現することができた。</p> <p>◎アセアン各国大学からの招へい者が、市内企業・施設(「タケモトピアノ株式会社」や「さかい新事業創造センター(S-Cube)」など)を訪問することにより、将来の本市内の企業就職などに繋げる取り組みを行うことができた。</p> <p>◎堺・アセアンウィーク実行委員会業務において、会計処理システム等にRPA導入を検討する余地はある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	アジア諸国との交流事業	シート番号	008-026
-------	-------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 → 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業の主軸である堺・アセアンウィークの実施などにより、多数の市民とアセアン諸国の将来的なショナルリーダーたちが中期のホームステイなどを通じた草の根交流を図るとともに、国際機関や外国公館などの強固なネットワークの構築に成功した。 これらが2019年のベトナム・ダナン市との友好都市提携に直結したものであり、外国人材の活躍などグローバル社会の中で堺市が持続的発展をなすために、実施内容を適切に見直しながら継続実施し、その実現を獲得していく必要がある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 これまで進めてきた本市がめざす「国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり」の推進が今年度は滞ることとなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ◎友好都市との交流について ベトナム社会主義共和国ダナン市との交流の一部を実施しないなどによりコストの縮減を行う。 ◎堺・アセアンウィーク事業について 参集型事業の内容見直し、とりわけICTを活用したオンライン交流やWeb配信など、多様な取り組みを併用しながらコストの縮減を行う。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 堺・アセアンウィーク実行委員会事業を実施する際は、感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染防止策を図り、また、インターネットの利用できない方々への配慮は行いつつ、積極的にICTなどを活用した交流に向けて準備を進めている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 他部局との適切な連携・役割分担 ③ <input type="checkbox"/> 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 ◎堺・アセアンウィークは、NPOや大学などの民間委員を含む実行委員会形式により運営され、その事業計画は毎年見直しを行っており、とりわけ今回のコロナ禍は強力な公民連携により乗り切ることから、その実施内容の充実を図る。 ・両国大学や民間企業のネットワーク内インテリジェンスを再発見し、事業を拡充(充実)させる。 ・理工系学生交流事業参加大学の学生や大阪府立大学のアセアン諸国の留学生を主な対象としたレポートコンテストなどを実施し、今後の共存共栄社会構築の一翼を担う。 ◎ICTの導入が可能なものは活用し、既存内容と併用することで効率化、効果化を図る。 ・アセアン諸国及び堺市の大学生や高校生らが、アフターコロナ、ウィズコロナの観点から必要な情報交換を行うなど、インターネットを活用した活発なリモート交流を図る。 ・自宅等においてアセアン各国の文化や歴史を体験できるよう、料理教室やワークショップをWEB配信により開催する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学生を迎えての市民交流や多数の人々を集めるイベントは中止した。今後、堺・アセアンウィーク事業の交流手法を抜本的に見直し、他団体の状況などを勘案してインターネットなどを活用した多分野での交流について検討していく。		